

兵庫県

現状の課題・問題点から 来年度の方向性についてのアドバイスを実施

支援概要

■支援の経緯

K市にある小売市場のために設立された会は、70年近くが経過し、市場を取り巻く環境は、時代とともに大きく変化してきた。商法の改正、スーパーマーケットの台頭、小売業の業態変化、経済情勢の変化、阪神淡路大震災の経験などを経て、いまなお地域の台所として市民の食生活に寄与しているものの、店主の高齢化や後継者不足等により空き店舗が増加している。

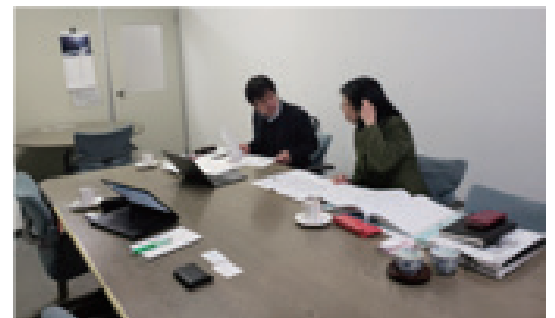
当会として、新たな未来志向の小売市場の構想づくり、そのための実態把握方法について指導してもらうべく、R大学教授で中小小売業のマーケティング研究家であるK氏に講師を要請した。空き店舗や空き空間をプラスに利用し、なにができるのかを考え、市場が再生するきっかけとしたい。

■専門家による具体的な支援内容

現状の市場の状況や商業環境をヒアリングし、アドバイスを行った。実際に対象となる2か所の小売市場へ出向き、各理事長や関係者へ現状調査の聞き取りを行い、経営状況や空き店舗状況、課題・問題点を聞き出すことで、来年度実施する貸主に対しての調査項目の整理と洗い出しを行った。調査項目としては、貸主に対して空き店舗を貸す意向の有無、貸す場合の条件や貸したくない場合の理由等、一段階踏む込んだ調査方法をまとめることができ、来年度の方向性についても指導・アドバイスを行った。

支援の効果

各小売市場との信頼関係を深め、その市場の基本的な考え方を知るという意味で、今回の専門家派遣は有意義であった。今後取り組むべき新たな事業など、未来の市場づくりのためのヒントや提案を多くいただけたことが成果である。来年度の活動に活かしていきたい。



専門家の声

現状調査の把握すべき点についてアドバイスを行ったことで、一歩前進したと思う。空き店舗は「負の」持ち物と捉えず、市場の「宝物」と捉え、活用する道筋を創造して欲しい。そのためには今後さらに具体的な実施方法に関する支援が必要である。

団体の声

希望する先生に指導していただき、大変スムーズに、また、来年度事業に向けての助走として、タイミング良く事業を進めることができた。今後は各市場と一緒にメリットや優先順位を考えて、開業者を広く募集したいと考えている。また空き店舗は活用の処方箋を「仕組み化」していきたい。